



「左京×学生縁ねっ」とは、左京区在住又は左京区内で活動する学生のアイデアや行動力を地域のまちづくり活動にいかす仕組みです。「学生」と「地域」をボランティア活動でつなげ、左京区の地域活性化をめざします。学生ボランティアは常時募集中。ご参加ください！



## とちの実をこの手で収穫！ 久多での一日ボランティアに行ってきました！

2014年9月21日（日）に京都市左京区の最北端、久多地域で行われた「久多とちの実収穫等ボランティア」に学生レポーターの佐藤が行ってきました。この活動は、近年獣害や高齢化で収穫量が減少している地域特産物「とちの実」を特産物として再生、また久多地域の活性化をめざす活動で、5回シリーズの最終回。「とちの実収穫」をしてきました！

### 収穫は至難の業！？



収穫のためいざ山の中へ。しかし、収穫は簡単なものではありませんでした。斜面が急で登るだけでも大変。とちの木がある場所までたどり着くのが精一杯でした。

栗によく似た「とちの実」を探しますが、落ちていたのは殻ばかり。ほぼ鹿に食べられてしまっていたのです。

結局、約2時間の活動で私の成果はたった7個。それでも「多い方」なのだそうです…

これにも参加しました！

### 左京朝カフェ～里山の未来をみんなで描こう！～

9月23日（火・祝）、京都大原学院で行われた「左京朝カフェ」他の学生ボランティアと力を合わせ、会を盛り上げました。ピアノ演奏もしました。60人の参加者が、テーマごとにわかれ、里山の未来についてワイワイと楽しく語り合う場に同席。いろいろな方から刺激を受けた一日でした。

### 現地の方ととち餅を食べながら意見交換会

収穫作業の後は、今回の主催者である京都市北部農業振興センターの方から、合計5回の「久多とちの実収穫等ボランティア」で約20キロの実が収穫できたという成果報告がありました。ボランティアがいなかったら…と思うようになっていたんだろう？と感じます。

また現地の方からは「じつは、実の皮剥ぎも大変」というお話も伺うことができ、それらの活動の次回ボランティア募集の計画も進みました。

話し合いの合間には、「とち餅」と「かき餅」をいただきました。素朴で優しい味でした。



### 意見交換会終了後にお話を伺いました！



例年は今回の5～6倍の実がとれるが、今シーズンは6月の雹の被害もあり少なめだった。これからもボランティアの力を借りて収穫したいと思います。

久多自治振興会会長 岡田さん

京都市北部農業振興センター  
西村さん

5回シリーズのボランティアプログラムは今回初めて企画し、初めての参加の方も多かったのが印象的です。今後活動エリアを広げ、収穫量を増やし、実の活用法を考えることが課題だと感じています。

### 編集後記



北山から車で約1時間かけて久多へ。到着すると、美しく雄大な自然と元気な方々に心が温かくなりました。京都で生まれ育った私ですが、久多は初訪問。そこでの活動は貴重な経験です。地元の方々のお話から、久多を誇りに思う様子を実感しました。

初めは久多についてほぼ何も知りませんでしたが、取材や収穫作業などの活動を終えさまざまな課題も見えた今、久多がより輝けるよう力になりたいと感じています。久多のみなさんありがとうございました。

（縁ねっと学生レポーター：佐藤真子（京都府立大原学院））